



特集

これからの ぼくたち

1月13日(日)文化センターで成人式が行われ、新成人が大人への第一歩を踏み出しました。式には、真新しいスーツや色鮮やかな振り袖などに身を包んだ新成人245人が出席し、旧友との再会を喜ぶ一方、久しぶりの会話に花を咲かせていました。式辞で長尾市長は「一時、一場面を大切に、夢と希望の実現に向け、努力を重ねてほしい」とエールを送りました。また、恩師からのビデオレターやAOMORI花嵐桜組のよさこい演舞の披露も行われ、最後には新成人も一緒になって踊り、盛り上がりました。



スタイル、
のスタイル。
平成最後の成人式



新成人の代表が誓いの言葉を述べました



いわぶち こう
岩渕 光 さん

私は平川市で生まれたことを誇りに思い、無類の愛情を注ぎ育てていただいた家族や、苦楽を共にし一緒に歩んできた友達、幼い頃から見守り支えてくださった先生方や地域の皆様のお陰で無事に成人を迎えられたことを幸せに思います。

20歳になると、法的に認められる部分が増え、自由な部分が増える反面、これまで以上に節度ある行動を心がける必要があります。

しかし、私どもはまだ新成人として自覚が芽生え始めたばかりで、至らない点や不安もありますが、優しく見守りご指導頂ければ幸いです。

今まで私たちを支え、導いてくださった全ての人への感謝の気持ちを今後は、思いやりの心に変えてこの自然豊かでスポーツが盛んな平川市とその人々にお返ししていくと共に、一人の社会人として自覚と責任を持ち名実共に大人と認められるように、自分を磨き、日々精進していくことをここに誓います。



おおかわ ななせ
大川 七瀬 さん

20年間、温かく見守り支えてくれた家族、苦楽をともにし一緒に歩んできた友人、いろいろとご指導して下さった恩師や地域の方々のお陰で無事にこの日を迎えられたことを幸せに感じています。

私達も20歳を迎え、すでに社会人となり職業に従事している人や、専門学校や大学に通い学業に励んでいる人など様々だと思います。

ですが、これからは、社会の一員として一人ひとりが行動に責任や自覚を持たなければなりません。発言だけでなく、それに見合った言動や態度を示せる大人になりたいと思います。

平川市で育った誇りを胸に、これからの市の未来を担う一員として、感謝の気持ちを忘れず、力強く、たくましく、人を思いやる気持ちを持って生きていくという意思を心に刻み誓いの言葉とさせていただきます。

成人式実行委員長にインタビュー



実行委員長
みさき しゅうさく
三崎 柊朔さん

■事前準備で苦労したこと

成人式実行委員の活動は10月頃より始まりましたが、一番苦労したことは恩師のビデオレター撮影でした。先生方も多忙であり、市外の学校に勤務している方も多く、撮影させていただくまで大変でした。また、自分たちの撮影したビデオレターで会場がとても盛り上がったため一番やりがいのあった仕事でした。

■当日のこと

事前準備やリハーサルを入念に行っていたため、大きなアクシデントなども起こらず式を運営することができました。成人式当日まで尽力してくれた実行委員をはじめ、終始お世話になった成人式関係者の皆さまにはとても感謝しています。

■最後に一言

式を盛り上げたい方はもちろんのこと、成人式の企画、運営に携わりたい方にもおすすめです。実行委員として活動することで、より多くの思い出ができますので来年度新成人を迎える皆さんもぜひ成人式実行委員に参加してみたいかでしょうか？

